

国語科 学力調査から授業改善へ

1 学力調査の推移

(1) 現1学年 本校 (全国平均)

観点	関心・意欲・態度	話す・聞く	書く	読む	言語事項
----	----------	-------	----	----	------

(2) 現2学年 本校 (全国平均)

観点	関心・意欲・態度	話す・聞く	書く	読む	言語事項
H24年 7月 都学力調査	73.5%(61.3%)	93.8%(93.1%)	66.7%(65.1%)	69.1%(64.7%)	87.7%(82.8%)
H23年 5月 学力調査	80.2%(79.1%)	73.4%(75.8%)	80.9%(78.2%)	72.0%(69.3%)	79.9%(71.3%)

(3) 現3学年 本校 (全国平均)

観点	関心・意欲・態度	話す・聞く	書く	読む	言語事項
H24年 6月 区学力調査	83.9%(72.1%)	88.8%(82.5%)	77.2%(64.6%)	64.9%(59.3%)	78.5%(68.9%)
H24年 4月 全国調査B	58.6%(49.0%)	67.3%(59.9%)	65.2%(57.4%)	68.4%(61.5%)	
H24年 4月 全国調査A		90.1%(87.7%)	91.9%(88.1%)	69.7%(65.4%)	78.6%(73.7%)
H23年 5月 学力調査	83.5%(60.0%)	87.4%(70.0%)	82.6%(60.9%)	73.8%(67.0%)	71.5%(77.9%)
H22年6月 学力調査	90.4%(78.3%)	80.6%(75.7%)	92.1%(77.9%)	75.7%(73.5%)	81.2%(70.3%)

2 結果分析と考察・課題

(1) 第1学年

(2) 第2学年

- ①5観点共に東京都の平均を上回った。「話す・聞く」に関しては、前年度、平均を下回っていたが、聞き取りテスト等に力を入れてきた成果が表れた。
- ②前年度と比較し、平均点を上回るポイントの少なかった項目が「書く」「言語事項」である。「書く」では、必要な情報を取り出して解決する力が不足している。「言語事項」では、接続語を正しく理解し使う力が十分でない。

(3) 第3学年

- ①区の学力調査に関しては、5観点とも、5～12ポイント平均を上回っている。特に、書くことは大きく上回り、感想文や作文の継続的な指導の成果が出ている。
- ②全国調査A、Bとも、平均を3ポイント上回ったが、更に向上できるよう解答を分析していく。
- ③前年度との比較では、前年度平均を下回った「言語事項」は、小テストなど力を入れてきた結果大きく向上できた。

3 課題解決のための手だて

(1) 第1学年

(2) 第2学年

- ①作文の時間を増やし、必要な情報を筋道立てて書くことに計画的に取り組みさせる。
- ②接続語を用例の中で理解したり、例文を作ってみたりする学習を重点的に行わせる。

(3) 第3学年

- ①引き続き、文法や漢字、語句の課題や小テストを計画的に取り組みさせていく。
- ②「読むこと」について、一昨年同様にやや上回るポイントが少なかったことを受けて、今後、定着していない内容を明らかにして、読み取る力を向上させていく。